



世界の平和を守る 国連Peace新聞



国連加盟60周年

1956年国連加盟

日本の役割

第二次世界大戦後、日本は平和国家として再出発しました。一九五一年、日本はサンフランシスコ平和条約に調印。翌年には、連合国軍による占領が終わり、日本は主権を回復しました。こうして、一九五六年に日本が国連に加盟したことは、戦後日本が国際社会に復帰したことを象徴するできごとでした。国連児童基金(ユニセフ)をはじめとする国際社会から支援され、日本は戦後復興を果たすことができたからです。日本は支援される側から支援する側となり、政府開発援助(ODA)によって発展途上国を支援するなど積極的な国際貢献を行ってきました。

知ろうよ!!! 国連

国連とは...
国際連合

いい、平和にしようと考え、国々が集まって設立された、全世界的な国際機構です。

第二次世界大戦の反省から

一九四四年に起こった第一次世界大戦の悲劇を繰り返さないよう、各国が話し合いで争いを解決することを目的に、一九二〇年に発足した国際連盟。しかし、武力を使わず、物事を決めるのに全加盟国の賛成が必要で、あまりに実行力がなく、アメリカが不参加であったことなどから、十分な役割を果たすことができませんでした。

- 本部** アメリカのニューヨーク
- 発足** 1945年(10月)
- 加盟国数** 193か国
- 職員数** 約4万人
*関連する機関を含めると約7万人
- 予算** 約2600億円
- 公用語** アラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語、スペイン語、日本語
(主に使われるのは英語とフランス語)

果たすことができなかった、第二次世界大戦の命が失われたことができなかった。多くの命が失われた第二次世界大戦。一九四五年、悲惨な戦争が二度と起こらないよう、国際連盟の経験を活かして、中国を中心として、国連は創設されました。

核軍縮を訴え続ける

世界で唯一の核兵器による被爆国として日本は、二〇年以上、総会などで核兵器廃絶決議案を提出し続けています。

防災や医療の分野でも

地震などの災害が多い日本は、その経験や積み重ねた防災技術などを世界に広げるため、国際防災世界会議をリードしている。日本伝統の蚊帳が世界で役立っています。

国連平和維持活動PKO

国連は世界各地で発生する紛争

国連組織



人間の安全保障

国家が自国の安全を守ることに安全保障の考え方は、国際社会は、貧困、紛争、テロ、感染症、環境問題、自然災害など、状況において、人々の安全を脅かす脅威は多岐にわたります。国連は、こうした脅威に対処するため、人間の安全保障の考え方を広げ、人々の安全を保障することを目的としています。

より良い世界に!!

※私たちは、今回新聞を作成することで、世界に関心をもち、世界で起きている問題などを知ることができました。持続可能な開発のための2030アジェンダ。貧困・飢餓・気候変動は、日本でも早く解決のために、現状を多くの人が知ってもらい、もっと関心を集める必要があります。また、FAOで働く日本人職員が少ないことにおどろきました。日本は、資金援助だけでなく、発展途上国の生活水準を向上させるためにも、教育や仕事の仕方など、生活に必要な事を教えてあげたい、協力できるといいと思います。気候変動が私たちの住む地球に、地球温暖化の影響をサングラスの白化現象が進んでいて、深刻な問題になっています。気候変動は今後も大きな課題として解決していかなくては、いけないと思います。世界中の人々が、温室効果ガスの排出を減らすように意識し、過ごしていくためにも、メディアを通してアピールする事が必要だと思います。世界中の人々が一人でも多く、笑顔で過ごす日々が続くように、私たちもこれから頑張りたいです。